



SHURIKEN

パイロット・ガイド ▶

はじめに

Variax® Shurikenへようこそ! このエキサイティングなギターは、オーストラリア、メルボルン出身のフュージョンメタルバンド、Twelve Foot Ninjaの Steve「Stevic」MacKayとの協力により開発されました。Stevicはバンドの創設者、ギタリスト、そしてプロデューサー、そしてVariaxギターの可能性を最大限まで引き出す事のできる想像力豊かな原動力でもあります。他とは違うアディクティブな音風景を作り出すために、バンドの楽曲は音楽スタイル、サウンドが幾度となく切り替わり、更にはチューニングさえも変則的です。ギタリストが一体どうやって、標準チューニングのシングルコイル・ファンクトーンが、ダウンビートのリードで Drop Aチューニングの超ヘビーなハムバッカーにバースからコーラスまで変えられるのか不思議に思うのなら、Variaxギターをご覧ください。本ガイドはギターVariaxの基本的な性能とSteve MacKayデザインによるカスタムトーンをご紹介します。

Twelve Foot Ninjaのウェブサイトはここからご覧頂けます：
<http://twelvefootninja.com>

Variax Shurikenには以下のアクセサリが含まれています: 1ギグバッグ、1リチウムイオン電池、充電器、VDI-USBインターフェース、ブリッジサドル・レンチ、トラスロッドレンチ

重量: 3.4kg

サイズ: 1070mm x 345mm x 50mm

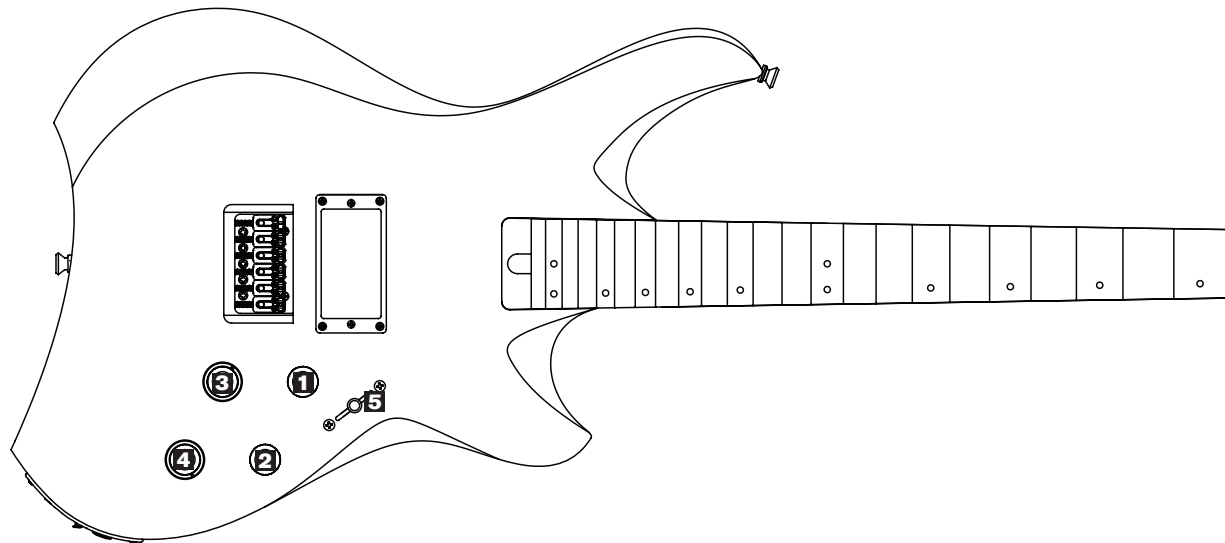
仕様:

- アルダー材ボディと27インチスケールのメイプルネック、ローズウッド指板
- 24ミディアムジャンボフレット
- シールドロッキング・チューナー
- 固定タイプ・ピエゾサドル付きカスタムブリッジ (Variax処理用)
- シングル・ミディアム出力ハムバッカー
- ボリューム、トーン、モデル及びAltチューンコントロール
- 5ウェイ・セレクター・スイッチ (Variaxモデル切り替え用)
- 6.3mmとVDI (Variax Digital Interface)出力
- 演奏可能時間12時間のリチウムイオン電池

ご注意:

© 2016 Line 6, Inc. Line 6, VariaxとPOD は米国および他の国々で登録されたLine 6, Inc. の登録商標です。Line 6ロゴ、Helix、Workbench及びMonkeyはLine 6, Inc.の登録商標です。無断複製禁止 ShurikenはShuriken Guitars Pty Ltd.の登録商標であり、許可を得て使用しています。各製品名は各社が所有する商標であり、Line 6との関連や協力関係はありません。Line 6のサウンドモデルの開発において研究した、特定の製品を明らかにする事を唯一の目的として、ここに製品名、情報及びイメージを記載いたします。これらの製品名、商標、画像およびアーティスト名の使用において、いかなる協力関係もエンドースメントもありません。米国特許番号 6,787,690; 7,279,631; 及び7,812,243 UK 特許番号 GB2406957. 日本特許番号 5227493. ドイツ特許番号 103 92 940.

基本操作



1. ボリューム・コントロール - ギターの信号出力レベルを調整します。
2. トーン・コントロール - 高周波の通信量を調整します。
3. ギター・モデル・セレクター - このノブを押し込むと(LEDが点灯)、8種類のプリセットVariaxギター・モデル・バンク、ユーザー定義可能な4種類のモデル・バンクにアクセスできます。Variaxモードの場合、ギター・モデル・セレクターのLEDにより選択中のギター・モデル・バンクが点灯します。各バンクには5種類のモデルが収められており、セレクター・スイッチのポジションで選ぶことができます。マグネティック・ピックアップを使用するには、このノブを再度押します(LEDが消灯)。4つの User I、II、III、IVプリセット・スロットには、ギター・モデルと変則

チューニングのどのような組み合わせでも直接ギターから保存することができます。カスタム・モデルの作成には、line6.com/softwareから無料でダウンロードできる**Line 6 Workbench**ソフトウェアを使用してください。

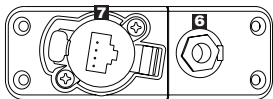
4. オルタネート・チューニング・ノブ - Variaxモードで、オルタネート・チューニング・ノブを演奏中に使うと、予めロードされている10種類の **オルタネート・チューニング(変則チューニング)**へ素早くアクセスできます。お気に入りのチューニングがありませんか? 心配は無用です。自分で作成したカスタム・チューニングをここに保存することもできます。詳細は後ほど。本体とアンプからの(チューニングの変更された)音が混ざること奇妙なモジュレーションが聞こえる場

合があるので、ギター本体の音が聞こえない程度にシグナルの音量を増幅しておきましょう。

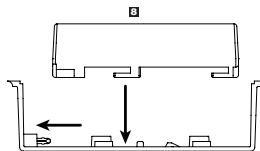
MODELに設定すると、ギターのチューニングは現在選んでいるギター・モデルと**セレクター・スイッチ**のポジションで決まります。Variax Workbenchソフトウェアを使えば、**ギター・モデル**バンクの中のどのギターにもオルタネート・チューニングを割り当てることができます。

オルタネート・チューニング機能をバイパスするには、**オルタネート・チューニング**ノブを**STANDARD**にセットします。Standardモードの場合、ユーザー・プリセット・スロットに保存した、オルタネート・チューニングを使用したモデルも含めて、全てのVariaxモデルがスタンダード・チューニングになります。

5. **ピックアップ・セレクター・スイッチ** - このギターにはマグネティック・ピックアップが1種類しか設置されていないため、ピックアップ・セレクター・スイッチを操作してもピックアップからのサウンドになんら影響を与えることはありません。Variaxモードでは各モデルにより、スイッチの動きが変化します。詳細は次の項目をご覧ください。



6. **アナログ出力** - ここに一般的な6.3mmのギターケーブルを接続します。
7. **VDIデジタル出力** - Variaxデジタルインターフェース(VDI)対応のLine 6ハードウェアに接続する場合に使用します。Line 6 Variaxデジタルケーブルのみを使用してください。



8. **電池ケース** - 再充電電池の装着と取り外し方は、上記のイラストを参照してください。初めてご使用になるときは、あらかじめ付属のリチウムイオン電池を充電器で最高レベルまで充電してください。最高レベルまで充電された電池は、最短でも12時間の使用が可能です。電池の残量を確認する場合は、バッテリーチェックボタンを押します：

LED x 4個が点灯= 9時間以上

LED x 3個が点灯= 6時間以上

LED x 2個が点灯= 3時間以上

LED x 1個が点灯= 3時間未満

LED x 1個が点滅= 残量が1時間未満なので、充電が必要です。

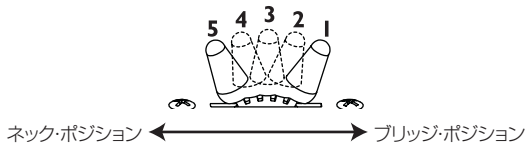
注意: 電池を使用せずにVariaxギターへ電源を供給することができます。HELIX™やPOD® HD500X等のVDIデジタル入力端子を備えたハードウェアに接続すると、この接続を通じて電源が供給されます。

Variaxのギター・モデル

Variaxの各モデルバンクには、ピックアップ・セレクター・スイッチの各ポジションに5種類の異なるモデルが用意されています。その全てが同じギターを基にしたり、2、3種類の似通ったギターだったり、または各モデルが全く異なる楽器を基にしている場合もあります。詳細は以下の各モデルを参照してください。エレクトリック・モデルの場合、**ボリューム**と**トーンノブ**はオリジナルのギターのノブと同じような働きをします。例えばボリュームノブを下げると、音色もわずかに暗くなります。各モデルの出力レベルは、オリジナルのギターを規準にしています。例えばハムバッキング・ピックアップを搭載したモデルは、シングル・コイルのモデルよりも音量は大きくなる傾向があります。**アコースティック・モデル**の場合、ボリューム・コントロールは単なるレベル・コントロールとして機能します。アコースティック・ギターはトーン・コントロールを持たないため、**トーン・ノブ**を使ってモデリングしたマイクの位置を変えられるようにしました。ノブを回して、トーンの変化を試してみてください。

ピックアップ・ポジション番号

このマニュアルでは、**ピックアップ・セレクター**ポジションに関して、最もリア（ブリッジ）側を「1」としました。そこから順番にピックアップ・セレクターを動かすことで、2、「3、4」とし、最もフロント（ネック）側を5としています。



User I~IV

Twelve Foot Ninjaの創始者、ギタリスト、プロデューサーでもある、Steve MacKayの言葉:

これらのバンクが含まれているモデルを僕は良くTwelve Foot Ninjaで使っています。同じ曲の異なる部分で使えるようなプリセットが各バンクに揃っているんです。異なるチューニングにセットできる同一のギターが多く用意されているのがお分かりでしょう。これは、僕がギター、アンプ、エフェクトのセッティングを変えずに、チューニングを良く変えるからなんです。この奥の手があるからこそ僕はギターのチューニングを変えてリフを簡単に弾くことができるんです。「するい!」って思う人もいるかもしれませんが。私の返事はこうでしょう。スバゲティを食べるときに、手の代わりにフォークを使うのはするいことですか? 辞書の代わりにスペルチェックを使うのはするいことですか? もちろん、そんなことはありません! 皆さん、お間違いないように。演奏にとっておきの新しいツールがある、ただそれだけなんです。

ステージ上でいかに衝動的に熱くなりながらも正確さを維持するか、というような課題に対してはVariaxギターがその革命的な解決方法です。答えはあなたの意志と想像力にギターを従わせることであり、従来のギターの不変性に束縛されないことです。

あなたは、私がいかにピックアップの組み合わせを気にしていないことに気付いているかもしれません。複雑さの中で、私は物事を単純にしておきたい性質なんです。私はよく3種類のギターサウンドを使います: ヘヴィー、クリーン、アコースティックです。各カテゴリーには2、3の異なる構成があるかもしれません。例えば、我々の曲「Invincible」のコーラスのギターは、Dave Grohl風のモデルを使用し、私が強調したかったオープンコードの色合いを引き出すように、各ストリングを3種類の異なるボリュームでE、B、E、B、Eにチューニングしました。これは、魔法でも使わない限り普通ではできません! どうぞ、ご自由に楽しんでください。

僕はモデルにしたチューニングで聞こえるサウンドの方が好きなので、大抵の場合ギターをDrop D (D、A、D、G、B、E) にチューニングしておきます。僕のセットアップを真似たい場合、6弦EをDへ下げることでのカスタム・チューニングを**USER**と**SHURIKEN**バンクで正しく聞くことができます。他のバンクにチューニングのオフセットが含まれていないのは、ギターが標準Eにチューニングされているからです。僕のプリセットをそれぞれのカスタム・チューニングと共にロードしたい場合は、必ず**オルタネート・チューニング・ノブ**を**MODEL**ポジションへ設定してください

い。これではやり過ぎだと感じるのであれば、ギターを標準Eのままオルタネート・チューニング・ノブを**STANDARD**または他のチューニングプリセットへ設定するのも自由です。

最後になりますが、なぜ僕が最初の4種類のバンクを**User I~IV**と呼んだのかわかりますか？それは、あなた次第だからです。創造性を駆使して自分自身のプリセットをデザインし、新しく発見できる自由な音楽を認識するのはVariaxギターなくしては不可能だからです。Workbench HDアプリを自由に試してみてください。使って良かったと思う筈です！

USER I

全てのカスタム・チューニングをこれらのプリセットと共に保存する場合、**6弦E**をチューニングで**全音**をDへ下げ、そして**オルタネート・チューニング・ノブ**が**MODEL**にセットされます。

ポジション1: Post Mortem Spank

SpankギターボディとSpankピックアップを組み合わせたドロップDチューニング(D A D G B Eが鳴る)。最も低い2弦がミュートされることに注意してください。

ポジション2: 8 Collateral

ニュートラルボディとJTV89ピックアップを組み合わせた特製カスタム・チューニング(D A A A A Aが鳴る) 6弦Eと5弦Aが1オクターブ下がります。

ポジション3: 7 Collateral

ニュートラルボディとLesterピックアップを組み合わせたもう一つの特製カスタム・チューニング(A E E E E Eが鳴る)「A」弦(Eにチューニングした)がミュートされます。

ポジション4: Collateral Aco

Acoustic JボディとDADGADチューニング(D A D G A Dが鳴る)。

ポジション5: Collateral Spank

SpankボディとSpankピックアップの組み合わせとDADGADチューニング(D A D G A Dが鳴る)。

USER II

全てのカスタム・チューニングをこれらのプリセットと共に保存する場合、**6弦E**をチューニングで**全音**をDへ下げ、そして**オルタネート・チューニング・ノブ**が**MODEL**にセットされます。

ポジション1: Octave Standard

ニュートラルボディとJTV89ピックアップの組み合わせと1オクターブ下げたスタンダードチューニング(E A D G B Eが鳴る)。

ポジション2: B Standard

ニュートラルボディとLesterピックアップの組み合わせと全て四分の一下げたチューニング(B E A D F# Bが鳴る)。

ポジション3: Standard

ニュートラルボディとLesterピックアップの組み合わせとスタンダードチューニング(E A D G B Eが鳴る)。

ポジション4: Acoustic Standard

Acoustic Dボディとスタンダード・チューニング(E A D G B Eが鳴る)。

ポジション5: Spank Standard

SpankボディとSpankピックアップの組み合わせとスタンダード・チューニング(E A D G B Eが鳴る)。

USER III

全てのカスタム・チューニングをこれらのプリセットと共に保存する場合、**6弦E**をチューニングで**全音**をDへ下げ、そして**オルタネート・チューニング・ノブ**が**MODEL**にセットされます。

ポジション1: Tumbi

Variaxのバンジューとカスタム・チューニング(D A D G B Aが鳴る)。5弦A以外全ての弦がミュートされることに注意してください。

ポジション2: 7 Sick Riff

ニュートラルボディとLesterピックアップの組み合わせとカスタム・チューニング(A E A E F# Bが鳴る)。

ポジション3: Invincible Aco

Acoustic DボディとドロップDチューニング (D A D G B Eが鳴る)。最も低い2本の弦がミュートされることに注意してください。

ポジション4: Invincible Chorus

Special BirdボディとLesterピックアップの組み合わせとカスタム・チューニング (E B E B B Eが鳴る)。「D」、「G」、「B」弦の通常ボリュームを20%、1弦Eの通常ボリュームを90% に設定します。

ポジション5: Invincible G

ノーマルボディとJTV89ピックアップの組み合わせとカスタム・チューニング(G D F# A A Aが鳴る)。

USER IV

全てのカスタム・チューニングをこれらのプリセットと共に保存する場合、**6弦E**をチューニングで**全音**をDへ下げ、そして**オルタネート・チューニング・ノブ**がMODELにセットされます。

ポジション1: Acoustic DADGAD

Acoustic DボディとDADGADチューニング (D A D G A Dが鳴る)。

ポジション2: Acoustic Drop D

Acoustic DボディとドロップDチューニング (D A D G B Eが鳴る)。

ポジション3: Drop D Octave

ニュートラルボディとJTV 89ピックアップでDチューニング1オクターブ下げる(D A D G B Eが鳴る)——一番低い「D」弦以外の全ての弦が1オクターブ下がることに注意してください。

ポジション4: Drop A

ニュートラルボディとLesterピックアップの組み合わせとドロップAチューニング(A E A D F# Bが鳴る)。

ポジション5: Drop D

ニュートラルボディとLesterピックアップの組み合わせとドロップDチューニング(D A D G B Eが鳴る)。

SHURIKEN

Twelve Foot Ninjaの創始者、ギタリスト、プロデューサーでもある Steve MacKayの言葉:

Shurikenバンクに含まれている全てのモデルが僕の気に入ってるチューニングとモデルです。ギターにはスタンダード・チューニング、7弦スタンダード・チューニング、8弦スタンダード・チューニング、アコースティック・スタンダードとDADGADチューニングがあります。もっと早くこのギターを使っていれば誰でもすぐに始められて準備ができます! 上記のUserバンクでもそうできるように、カスタム・チューニングは**6弦E**が**D**にチューニングされているときのみに正しく作用します。

それぞれ保存されたカスタム・チューニングと共にプリセットをロードしたい場合は、必ず**オルタネート・チューニング・ノブ**をMODELポジションへ設定してください。

ポジション1: Drop D Octave

ニュートラル・ギター・ボディにJTV 89ピックアップを組み合わせ、全てを1オクターブ下げます(E A D G B Eが鳴る)。

ポジション2: Tone Down Acoustic

カスタム・チューニングしたAcoustic Dボディ(D A D G A Dが鳴る)。

ポジション3: Drop A

Lesterピックアップを組み合わせたニュートラル・ギター・ボディで全て四分の一下げたチューニング(A E A D F# Bが鳴る)。

ポジション4: Shuriken Spank

Spankギター・ボディにSpankピックアップを組み合わせたドロップDチューニング(D A D G B Eが鳴る)。一番低い2本の弦がミュートされ、D弦が通常ボリュームのわずか4%にセットされます。

ポジション5: Shuriken

Spankギター・ボディにSpankピックアップを組み合わせた特製カスタム・チューニング(B F# B C# B C#が鳴る)。

T-MODEL



1960年製 Fender® Telecaster® Customをベースにしています*。
Leo Fender氏のTelecasterはもともとBroadcasterと呼ばれ、ソリッドボディのエレキギターとしては初めて商業的に成功したモデルです。発売開始後50年以上を経た今も引き続き製造されています。

ポジション1: ブリッジ、**ポジション2:** ワイドレンジ・ハムバッカー・ブリッジ、
ポジション3: ブリッジ + ネック、**ポジション4:** ワイドレンジ・ハムバッカー・ネック、
ポジション5: ネック

SPANK



1959年製 Fender® Stratocaster®をベースにしています*。
曲線美を誇るStratocasterもまたLeo Fender氏の非凡な才能を証明するモデルです。1954年の発売当時には革命的だとされたStratocaster®は、その美しい輪郭のボディとボルトオン・ネック、対応力の優れたエレクトロニクスが他のエレキギターへ大きな影響を与え、業界標準の機能となりました。我々のモデルはオリジナルとはわずかに異なり、ブリッジ・ピックアップでもトーン・コントロールが機能するようにになっています。Leoもきっと分かってくれるでしょう。

ポジション1: ブリッジ、**ポジション2:** ブリッジ+ミドル、**ポジション3:** ミドル、**ポジション4:** ネック+ミドル、**ポジション5:** ネック

* 各製品名は各社が所有する商標であり、Line 6との関連や協力関係はありません。Line 6のサウンドモデルの開発において研究した、特定の製品を明らかにする事を唯一の目的として、ここに製品名、情報及びイメージを記載いたします。Fender®、Stratocaster®及びTelecaster®はFender Musical Instruments Corporationの登録商標です。Gibson、Gibson Firebird、Epiphone及びLes PaulはGibson Brands, Inc.の登録商標です。

LESTER



1959年製Gibson® Les Paul® Standard、1955年製Gibson® Les Paul® Special、1976年製 Gibson Firebird® Vをベースにしています*。

Les Paul® Standardギターは、Gibson初のソリッドボディ・エレキギターとして人気ギタリストであり、レコーディングの先駆者でもあるLes Paulとのコラボレーションにより製作されました。製造しやすいFenderのデザインとは対照的に、Les Paulは従来のホロウボディの緩やかに盛り上がったトップとセット・ネック構造をそのまま引き継いでいます。オリジナルシリーズは商業的には成功せず、1961年に生産中止となりました。その後、再び関心を集めたことから1968年に再登場しています。

Les Paul® Specialは、1955年に実用型のJuniorとデラックス版のStandardとの中間モデルとしてLes Paulラインに加わりました。2基目のP-90を追加したことで音色の幅がさらに広がり、Specialはレゲエの伝説的存在、Bob Marleyの愛用ギターとなりました。我々のモデルはオリジナルのシングル・カッタウェイのバージョンをベースとしています。

1963年に発売されたLes Paul® Firebirdはデトロイトの有名な自動車デザイナー、Ray Dietrich氏の協力を得て製作されました。スルーネックの構造とEpiphone®スタイルのミニハムバッカーによってFirebirdは心地よいサステインと切れ味のある高域を持つユニークなサウンドとなり、ブルーススライドギターで伝説とも言われるJohnny Winterのお気に入りとなりました。

ポジション1: Les Paulブリッジ、**ポジション2:** Firebirdブリッジ、
ポジション3: Firebirdネック、**ポジション4:** Special P90ブリッジ、
ポジション5: Les Paulネック

ACOUSTIC



ポジション1: 1959年製Martin® D-28をベースにしています*。
D-28はMartin®のフラットトップの定番とされています。ドレッドノート (通称「D」) ボディはローズウツのバックとサイドの組み合わせで、フラットピッキングに理想的なフルサウンドを生み出します。



ポジション2: 1970年製Martin® D12-28をベースとしています*。
1970年、Martinは好評のD-28に6弦を追加して、当時のフォーク・ミュージックのブームに乗りました。



ポジション3: 1967年製Martin® O-18をベースにしています*。
小型の「parlor」サイズのボディで、フィンガースタイル奏法に理想的なバランスのとれたトーンを生み出します。



ポジション4: 1966年製 Guild® F212をベースにしています*。
Guildのジャンボな12弦ボディからは、ボリューム感と明瞭感というこの上ない組み合わせが得られます。モデルとなったギターはバックとリムがマホガニーのF212です。



ポジション5: 1995年製 Gibson® J-200をベースにしています*。
そのサイズの大きさと凝った装飾が特徴のは派手好きのカントリー&ウエスタン・アーティストが好んで弾いています。Elvis Presleyも後年気に入って弾いていました。

* 各製品名は各社が所有する商標であり、Line 6との関連や協力関係はありません。Line 6のサウンドモデルの開発において研究した、特定の製品を明らかにする事を唯一の目的として、ここに製品名、情報及びイメージを記載いたします。Martin® は Dreadnought, Inc.の登録商標です。Guild® は Cordoba Music Group, Inc.の登録商標です。Gibson®, ES®及びEpiphone®はGibson Brands, Inc.の登録商標です。

JAZZ



1961年製Gibson® ES®-335、1964年製Epiphone® Casino、1954年製Gibson® ES®-175、1953年製Gibson® Super 400をベースにしています*。

セミホロウのGibsonはソリッドボディのトーンとサスティンとホロウボディのバランスと美しさをブレンドしたモデルと考えられます。Larry Carltonなどのジャズ・アーティスト、B.B. KingやAlbert Kingなどのブルース・ギタリストが、そのウディなトーンでファンを魅了しました。我々のモデルは1961年のドットネックで、P.A.F.ピックアップとストップ・テールピースを搭載しています。

1957年にGibsonはライバル社のEpiphoneを傘下に収め、その工場ではEpiphoneギターを生産し始めました。John Lennonは特にCasinoを気に入り、Beatles解散後も長い間レコーディングに使っていました。このCasinoはP-90ピックアップを搭載しています。

GibsonのES-125モデルにシャープなベネチア風カッタウェイと上品なフィンガーボードを加えたのがES-175です。1953年にはP-90ピックアップがもう1基追加され、ジャズギタリストに人気のモデルになりました。

1940年代終盤には音楽スタイルの変化により、Super 400のようなプレミアムアーチトップの音量では不十分になりました。初期のエレキギター用にピックアップとコントロール類を加えることによって、Gibsonは1951年にSuper 400のエレキバージョンを製作しました。我々のモデルはP-90のバージョンをベースにしています。Scotty Moore (とElvis)が68年のカムバックスペシャルで弾いているSuper 400を聴いてみてください。

ポジション1: Jazz Super Fourブリッジ、**ポジション2:** Semi Powerfaceネック、**ポジション3:** ES335ネック、**ポジション4:** Jazz Super Fourネック、**ポジション5:** Jazz Seventy Fiveネック

WORLD



ポジション1: 1935年製Dobro® Model 32をベースにしています*。

通常Dobroはウッドボディですが、このモデルとなったギターは全体にアルミニウムを使い注意器を強調した珍しいギターです。



ポジション2: Coral Sitarからインスパイアされています*。

Coral Sitarは、新しい楽器としてギタリストがシタールの弾き方を憶えなくても特有の唸りとドローンを出せる楽器です。このモデルではトーン・コントロールでドローン弦のレベルを調整します。



ポジション3: 1999年製Jerry Jones Shorthorn®をベースにしています*。

1960年代、Danelectrolはマンナイトとリップスティック・チューブから素晴らしいサウンドのギターを生み出しました。90年代になり、Jerry Jonesは同様の素材を使って年代の伝統を継続しました。我々のモデルはフロントとリアのピックアップがアクティブになっています。

* 各製品名は各社が所有する商標であり、Line 6との関連や協力関係はありません。Line 6のサウンドモデルの開発において研究した、特定の製品を明らかにする事を唯一の目的として、ここに製品名、情報及びイメージを記載いたします。Dobro® ES®及びGibson®はGibson Brands, Inc.の登録商標です。Coral SitarはJerry Jonesの登録商標です。ShorthornはJerry Jones Guitarsの登録商標です。



ポジション4: Gibson® Mastertoneバンジョーからインスパイアされています*。
Mastertoneシリーズは1925年に発売され、たちまちブルーグラスバンジョーの定番となりました。



ポジション5: 1928年製 National® Triconeをベースにしています*。
Triconeは3つの6インチ・コーンをブリッジに繋げて弦の振動を増幅しています。Triconeは、後のシングルコーンのレゾネーターよりもスムーズなサウンドです。

TWANG



1959年製Gretsch® 6120と1966年製Rickenbacker® 370をベースにしています*。

6120は、カントリーギターのエキスパート、Chet Atkinsの協力で開発された初期のGretschモデル数種類の中の一つです。6120はDuane EddyやEddie Cochran、Brian Setzerなどトワングなプレイヤー達を連想させるサウンドです。我々のモデルには、Filter'ron のハムキャンセル用ピックアップが搭載されています。

12弦ギターの人気で影が薄くなってしまいましたが、6弦のRickenbackerのスタイリッシュなモデルもRadioheadのEd O'Brienなど、普通とはちょっと違ったものを求めるプレイヤーには相変わらず人気があります。

ポジション1: Gretschブリッジ、**ポジション2:** Gretschブリッジ + ネック、
ポジション3: Gretschネック、**ポジション4:** Rickenbackerブリッジ、
ポジション5: Rickenbackerネック

* 各製品名は各社が所有する商標であり、Line 6との関連や協力関係はありません。Line 6のサウンドモデルの開発において研究した、特定の製品を明らかにする事を唯一の目的として、ここに製品名、情報及びイメージを記載いたします。National は KMC Music, Incの登録商標です。Gretsch® は Fred W. Gretsch Enterprises, Ltdの登録商標です。Rickenbacker® は Rickenbacker International Corporationの登録商標です。

カスタム・ギターを作る

Variaxモードの幅広さに対応力を、特に演奏時に最大活用するには、重要なサウンドへ瞬時にアクセスできることが大切です。お気に入りのトーン20種を素早く呼び出すには、**ギター・モデル・セレクター**ノブ上の4つのユーザーバンクを活用してください。それぞれに5種類の気に入ったギター・モデルだけでなく、トーンやオルタネート・チューニング(前もって**オルタネート・チューニング・ノブ MODEL**に設定した状態)も保存できます。例えば、標準でチューニングしたお気に入りのエレキサウンドを**USER I**へ、同じエレキサウンドでチューニングを下げたものを**USER II**へ、そしてアコースティックサウンドを**USER III**へ保存してみてください。制限はありません。

例えば、これから何度も使いたいと思うような気に入ったサウンドが見つかったとします。以下のように、カスタムバンクに保存してみましょう:

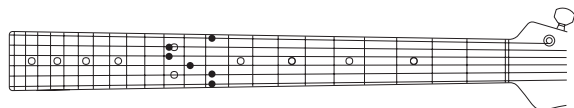
1. それが本当にとっておきたいサウンドかどうか確認することを忘れなく。以下の手順でギター・モデルとトーン・ノブのセッティングを保存します。
2. **ギター・モデル・セレクター**ノブを2.5秒間押すか、またはカスタマイズ・モードに入ったことを示すLEDが点滅するまで長押しします。
3. 次にギター・モデル・セレクターを回して**USER**ポジションの一つを選びます。自由に選んでください。オルタネート・チューニングLEDが消灯します。サウンドを保存したいポジションへ**ピックアップ・セレクター・スイッチ**を動かします。
4. この位置にオルタネート・チューニングを保存する場合は、**オルタネート・チューニング・ノブ**でお気に入りのチューニングを選びます。オルタネート・チューニングが不要であれば、この手順をスキップしてください。
5. **ギター・モデル・セレクター**ノブを2.5秒間長押しします。上出来です! これでカスタム・バンクにあなたの選んだ最初のギター・モデルが保存されました! 保存した通りのチューニングを呼び出したい場合は、**オルタネート・チューニング・ノブ**を**MODEL**に設定するのを忘れないでください。

カスタムのオルタネート・チューニングを作成

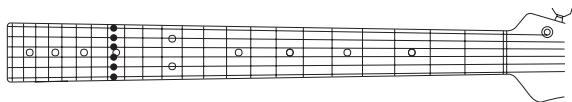
Variaxに搭載されているオルタネート・チューニングは非常にパワフルなツールであり、一般的なチューニング10種類がオルタネート・チューニング・ノブで選択できるよう用意されています。カポの代わりにこの機能を使うようなユーザーにとっては、まだ不足しているかもしれません。その解決策も用意されているので、ご心配なく。オルタネート・チューニング・ノブに保存されている**MODEL**と**STANDARD**以外の全セッティングをお気に入りのチューニングと**入れ替える**ことができます。その方法は以下のとおりです。

1. **ギター・モデル・セレクター**を6弦ギター・モデルのいずれかに設定し、440Hzを基準とするスタンダードチューニングになっていることを確認します。
2. **ギター・モデル・セレクター**ノブを2.5秒間押すか、またはカスタマイズ・モードに入ったことを示すLEDが点滅するまで長押しします。
3. **オルタネート・チューニング・ノブ**上の、置き換えたいポジションを選択します。**注意:** 既にそのポジションが選択されている場合は、一度違う位置に動かしてから戻すことでカスタマイズモードがその場所を認識するようにします。オルタネート・チューニングLEDのみが点滅します。
4. 変更したい各弦を一度ずつ鳴らすことで、オルタネート・チューニングを新規に作成できます。カスタマイズモードでは12フレットが0フレット(ナット)と見なされます。そのため、10フレットを鳴らすと弦のチューニングが全音下に、14フレットを鳴らすとチューニングは全音上になります。チューニングの作業中は、ネック上を移動中に不要な音を鳴らさないよう、注意深くミュートしないと、アサインが変更される場合があります。クリーンにフレットを押さえていれば、全てのノートを同時に弾くこともできます。

オープンDチューニングをする際には、以下のポジションを演奏します:



3フレット(G)にカポを使う場合は、以下のポジションを演奏します。



5. **ギター・モデル・セレクター**ノブを軽く押し離すと、オーディション・モードに入ります。自分のチューニングを聴いてみましょう。思い通りのサウンドであれば、6に進みます。調整したい場合は、**ギター・モデル・セレクター**を押してすぐ離し3の手順に戻ってください。オルタネート・チューニングのカスタマイズを中止する場合は、**オルタネート・チューニング・ノブ**を回します。
6. **ギター・モデル・セレクター**ノブを2.5秒間押すか、またはカスタマイズ・モードに入ったことを示すLEDが点滅するまで**長押し**します。

ファクトリー・リセット・オプション

多くの場合、Variax Shurikenギターにおけるファクトリーリセットは必要ありません。ファームウェアのフルリセットを止む終えず実行した場合、Variax Shurikenギターのモデルとオルタネート・チューニング・ノブが正常に反映されなくなるかもしれないことを知っておく必要があります。その場合は、Workbench HDソフトウェアを起動させ、Variax Shurikenソフトウェアバンドルからファクトリーセッティングを手動で保存し直す必要があります。

ファームウェアのみをリセットする場合

用意されているWorkbench USBインターフェースを使用して、Variaxギターをコンピュータへ接続します。充電済みのVariax電池が挿入され、6.3mm TRSシヨートパッチケーブル、またはヘッドフォン・アダプターが接続されて電池と繋がっていることを確認してください。Workbenchインターフェース上で両方のライトが全ての工程を通して緑色に点灯していることを確認してください。

Line 6 Monkeyソフトウェアを起動させます。まだLine 6 Monkeyをダウンロードしていない場合は、www.line6.com/softwareから無料で入手できますので、実行してください。Monkeyから「Flash Memory」をVariax ギターに選び、**Install**をクリックします。Monkeyの画面上に、既存のパッチを保存するかどうかを尋ねるダイアログメッセージが表示されます。**Yes**をクリックすることにより(

これを強くお勧めします)、現在のモデルとチューニングのセッティングを変えることなくギターのファームウェアをリセットすることができます。Noをクリックすると、ギターはデフォルトのセッティングで復元されるため、ギター・モデルとオルタネート・チューニング・セレクターは一致しくなくなります。

ギター・モデルとオルタネート・チューニング・セレクターのリセット

モデルとオルタネート・チューニング・セレクターのために、Variax Shurikenのデフォルトを復元したい場合は、Workbenchソフトウェアを使用してください。まだLine 6 Workbench HDソフトウェアをダウンロードしていない場合は、www.line6.com/softwareから無料で入手できますので、実行してください。

用意されているWorkbench USBインターフェースを使用して、Variaxギターをコンピュータへ接続します。充電済みのVariax電池が挿入され、6.3mm TRSシヨートパッチケーブル、またはヘッドフォン・アダプターが接続されて電池と繋がっていることを確認してください。Workbench USBインターフェース上で両方のライトが全ての工程を通して緑色に点灯していることを確認してください。

Workbenchアプリケーションを起動させ、Fileメニューへ進み、**Open Bundle**をクリックします。ダイアログボックスの中Variax Shurikenのバンドルを選び、**OK**をクリックします。Workbenchアプリケーションの左上の隅にある**Upload All**ボタンをクリックします。アップロードが完了すると、そのモデルとオルタネート・チューニング両方のセッティングがリセットされます。

オルタネート・チューニング・プリセットの1種類、あるいは全てをリセットする場合:

ギターから直接オルタネート・チューニング・プリセットをリセットすることもできます。まず**ピックアップ・セレクター・スイッチ**をセンターの位置に設定し、**ギター・モデル・セレクター**ノブを押しのままギターに6.3mmケーブルを接続して電源をいれます。ギター・モデル・セレクターのLEDとオルタネート・チューニングのLEDの両方が赤く点滅します。**オルタネート・チューニング・ノブ**を新たに任意の位置に切り替えます。ギター・モデル・セレクターのLEDは消灯します。1つのプリセットだけを復元する場合は、**オルタネート・チューニング・ノブ**でその任意の場所にあるチューニングを選択します。選択が終わったら、ギター・モデル・セレクター・ノブを**長押し**します。ギター・モデル・セレクター・ノブが速い速度で3回、赤く点滅し、10種類のオル

タネートチューニング全て、あるいは選択した1つが初期設定に戻ったことを示します。これでギターは通常の操作状態に戻ります。

Variax Shurikenギターの中にロードされているオルタネート・チューニングの初期設定は以下の通りです:

Variaxファクトリー・オルタネート・チューニング	
名称	チューニングの詳細(最低音から順番に)
STANDARD	E A D G B E
USER I	D A D G A D
USER II	E B E B B E
USER III	E A A A A A
USER IV	B E E E E E
1 DOWN	D G C F A D
2 DOWN	C F B _b E _b G C
DROP C	C G C F A D
BARITONE	B E A D F [#] A D
DROP A	A E A D G B
OCTAVE	E A D G B E